

令和 7 年度 大阪狭山市公の施設の指定管理者 評価結果表

施 設 名	大阪狭山市立コミュニティセンター
指定管理者	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社近畿支店
指 定 期 間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日（2 年間）
所管部署名	市民生活部 市民窓口グループ
指定管理料	30, 677, 439 円（令和 7 年度決算額）

1. 指定管理の概要

(1) 指定管理施設の概要

所 在 地	大阪狭山市大野台二丁目 1 番 5 号
事 業 内 容	市民相互の多様な交流を促進することにより、コミュニティ意識の高揚を図り、活力ある住みよい地域社会の形成に寄与するとともに、市民サークル・グループなどの会議、練習、講習会などの場の提供を行う。
施 設 内 容	1 階：エントランスホール、コミュニティスペース、事務所 2 階：談話室、トレーニングルーム、フィットネスルーム シャワールーム(男・女)、更衣室(男・女) 3 階：多目的室(1)、プレイルーム(幼児室)、和室、音楽室、創作室 4 階：会議室、大会議室、多目的室(2)、控室 地階：駐車場

(2) 指定管理者の概要

団 体 名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社近畿支店
所 在 地	大阪市西区南堀江一丁目 1 2 番 1 9 号四ツ橋スタービル 9 階
主 な 事 業	・施設管理及び運営業務 ・給食業務 ・学童／放課後クラブ運営 ・図書館業務 ・人材派遣業務 ・寮／保養所管理業務 ・管理サービス業務 ・ビルメンテナンス業務／警備業務

2. 評価の結果

評 価 項 目	評価点	
	一次評価 (指定管理者 の自己評価)	二次評価 (市の評価)
1. 市民の平等利用、サービス向上、利用促進について		
(1)市民の平等利用、サービスの質の維持・向上について	4	4
(2)施設の利用促進について	4	4
2. 適正な管理運営について		
(1)管理運営の実施状況について	4	3
(2)安全対策、危機管理体制について	5	4
3. 管理経費の縮減等について		
(1)指定管理に係る費用について	3	3
(2)経費の縮減に向けた創意工夫について	3	3
4. 課題への対応について		
(1)提案内容や改善すべき点への対応について	4	3
合 計	27	24
【総合評価】	A	A

3. 「2」における評価の理由

指定管理者 の自己評価	優れていた点 ・ 指定管理 2 年目も『サービスの質の向上』、『利用者の満足度向上』、『美観維持・安全衛生の確保』を基本方針に掲げて管理業務を行い、無事に 1 年を終えることができた。コンプライアンスを遵守し様々な状況下でも公平、公正、中立に業務を遂行することができた。 ・ ニュータウン連絡所と日々の状況共有や定例連絡会を開催する等、密接に連携することにより、施設維持管理業務や種々の課題対応を迅速にかつ円滑に進めることができた。 ・ 施設の老朽化対応に関して、毎日の巡回点検により要修繕箇所の早期発見に努め、応急処置や修繕は迅速に対応し、利用者にご迷惑をお掛けしないように努めた。 ・ 危機管理や災害未然防止の観点から、敷地内に止まらず、隣接敷地のリスクも考慮し、所有者に繰り返し説明し、改善を実現出来た。 ・ 利用者から職員への不当行為については、市と情報共有を行いながら、責任者が公平、公正、中立の立場で毅然とした態度で対応し、沈静化させた。 ・ 徹底した CS 向上取組を行った結果、利用者の代表者全員を対象としたアンケートでは、窓口対応、電話対応、清掃等は職員全員で取組んだことで好評を得た。また、課題や利用者ニーズをきめ細かく把握すること
----------------	--

	に努め、順次対応可能な案件から、スピード感を持って対応した。 ・自主事業においては、昨年１年間継続実施した「ピラティス体操」を本年度も１年間通じて実施した。また、初めて「旬会」を開催し、参加者から好評を得ることが出来、当センターを地域の教養・文化・運動等の情報発信の基点とすべく取り組んだ。 ・インターネット予約手順のチラシを独自に作成し、利用者に配布した。このことからインターネット予約が増加した。 改善すべき点 ・自主事業以外での利用促進については、利用率の低いスペースを活用して無料のイベント開催を計画したが、諸事情により直前で開催は見送ることとなった。（団体主催者と事業準備に関して、開催までのプロセスを経験したことで、次年度以降に向けてノウハウの蓄積はできた。） 提案内容、前年度の改善すべき点への対応 ・当センターは地域住民の方々への教養・文化・運動等の情報発信の基点としての役割もあることから、チラシの配架スペースを増設し、かつ、ポスターはルールを策定して掲示を再開し情報発信を加速した。
市 の 評 価	優れていた点 ・苦情対応について、迅速な対応で大きな問題に発展することなく、業務運営が行われていた。 改善すべき点 ・令和７年度に把握した施設利用者のニーズを基に、利用者が増加するよう更なる取組みを行われたい。 提案内容、前年度の改善すべき点への対応 ・チラシやネット等の広報手段を用いて情報発信をおこない、施設利用者のニーズを把握し、利用者増加に向けての取組みが行われていた。